

2023年度 ニチキッズながの石渡保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月28日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」の保育理念のもと、保育士一人ひとりが子どもの気持ちに寄り添い、今どんなことを求めているのかを常に考え、興味や関心のある事を遊びに取り入れたりしながら、保育に取り組むことを大切にした。
子どもの発達援助	現段階の子どもの姿をしっかり捉えながら保育計画を作成し、日々の保育にあたった。一人ひとりの思いを受け止め、“楽しい・やりたい”という気持ちだけでなく、“やりたくない・イヤ”という気持ちのときにも寄り添い、甘えも受け止めながら見守り励まし安心して活動に参加できるよう関わった。
保護者に対する支援	送迎時やコドモンにて一日の様子を共有を行い、成長した姿を伝えられるように意識した。行事を通して保育園の子どもたちの姿を見てもらう事を心がけ、保護者間の交流も出来るように取り組んだ。
保育を支える組織的基盤	園内研修等においては、経験年数に捉われず自らの意見を言える雰囲気作りを大切にシディスカッションしたことで、職員間の発言からの気づきを各自自分の保育に取り入れる姿があった。常に「子どもの最善の利益」を考え保育にあたり、話し合う事ができた。

総評
今年度は自らの保育を振り返る機会を多く持ち、話し合う場を多く取り入れた。子どもの日々の様子の共有を保護者様・保育士間で行うことで、成長を共に喜び合うことができた。キャリアアップ研修にも積極的に参加し、個人・園としての資質の向上に努めることができた。また、自分の保育に迷った時には、保育理念・保育目標を基にマニュアルの確認をしながら話し合いを行い、各自自己研鑽に努めた。来年度においても、その姿勢を忘れずに、保育にあたっていきたい。